

「できないこと」「ではないこと」
「できない」とは言わない

あとほんの少し手間をかければできることを、その手間が惜しいばかりに「できない」と言ってしまうことはないだろうか。

例えば重機ではできないことでも、自分の手で少し作業すればできることはたくさんある。安西社長は、そういう本場に「できないこと」ではないことに「できない」とは言わない、ということをもいつも考えている。これはごくふつうのことのようにだが、機械化が進んだ日本のような国では、汗をかいて自分の手や体を動かすことが「できないこと」になってしまいかねない。

今やつてる仕事为天職

解体業を中心とした建設会社を営む安西社長は泉区出身。

自動車業界で働きたいと思っていた高校3年生の夏に、不動産業界で働いていた叔父から見せられた「間取り図」を目にした瞬間「自分がやりたいことはこれだ」と魅せられ、インテリアデザインの専門学校に進学。卒業後は不動産の営業職を経て建売住宅の販売へ。建築士と協力して作成した間取り図をもとにいくつもの住宅を世に送り出した。

建売住宅販売のかたわら、解体業にも携わるようになり、やがて解

解体を中心とした土木工事やリフォーム工事などを幅広く扱う横浜総合建設株式会社を設立して独立、現在に至る。

周囲への配慮を忘れない

解体の仕事は、もちろん解体する建物の数がそのまま利益に直結するが、安西社長は社員には「焦らず、ゆつくりやるように」と声をかける。仕事を急げば近隣に住む方々に迷惑をかけることになりかねないし、作業中の事故につながる可能性も高くなるからだ。

現場周辺への影響、現場で働く作業員への配慮は安西社長の人柄の表れでもある。現場で働く作業員は全員正社員であり、下請け業者は使わない。受注から実際の現場での作業まで、すべてを横浜総合建設が責任をもって進める仕事のやり方にもまた、安西社長の人柄が表れている。現場で着々と作業を進める重機や車両に書かれた「横浜総合建設」の文字は頼もしい。

安西社長の穏やかで柔らかい人柄は作業員たちの笑顔からも伝わってくる。安西社長が社内呼びかけ、ある社員のアイデアで誕生したキュートなキャラクター「壊志郎」が社内や車両、重機で楽しそうに笑っているのはそうした横浜総合建設の社内と現場の雰囲気全体を端的に表していると言えるだろう。

またひとつ、横浜で活躍するイチオン企業と社長と出会うことができた。



これから常に「施主様」の気持ちにたつて工事を続けたい



ハマの情熱社長

vol.1

横浜総合建設株式会社

代表取締役 安西伸司

YSK 横浜総合建設(株)

0120-584801

〒244-0801
横浜市戸塚区品濃町 845-3
TEL : 045-383-9240
FAX : 045-383-9241

Q 解体業者 検索

こわしるう
壊志郎
といえます
よろしくね!



ホームページ <http://www.ysk-a.com>
ブログ <http://www.ysk-a.com/blog/>



見積無料! 空家問題・リフォームも対応しています!



横浜で一番おいしい川の水は?

キニナル真相は
コチラ!



昭和歌謡『ブルー・ライト・ヨコハマ』の「とてもきれいな」と歌われた「街の灯り」の場所は一体どこ?

キニナル真相は
コチラ!

